

授業概要

証券市場とは、株式や債券などの有価証券が取引され、価格が形成される市場のことです。新聞やテレビのニュースで日本だけでなく各国の証券所の動きが報道されるように証券市場は、経済活動にとって大きな役割があります。授業では、①日本や世界におけるお金の動き、②金融・証券市場の役割、③株式や債券などの仕組み、その発行市場と流通市場、③投資信託の仕組み、その流通市場などを一具体的な事例に学びます。資金の調達・運用の両面から証券市場にアプローチし、内外でグローバル化する企業と投資家、証券市場の動向とその課題を考えます。

授業計画

第 1 回	講義のガイダンス ～暮らしの中の証券市場を知る～
第 2 回	金融・証券取引の仕組みを知る
第 3 回	株式市場について (1) 概要 (株式とは何だろうか? その始まりを知る)
第 4 回	// (2) 発行市場 (株式を発行するとは何だろうか? その仕組みを知る)
第 5 回	// (3) 流通市場 (株式の価格を決める。誰がどんなルールで?)
第 6 回	債券市場について (1) 概要 (債券とは何だろうか? その始まりを知る)
第 7 回	// (2) 発行市場 (債券を発行するとは何だろうか? その仕組みを知る)
第 8 回	// (3) 流通市場 (債券の価格を決める。誰がどんなルールで?)
第 9 回	投資信託について (1) 概要 (投資信託とは何だろうか? その仕組みを知る)
第 10 回	// (2) 発行市場と流通市場 (投資信託の流通市場を知る)
第 11 回	派生商品について (転換社債、オプションとは何だろうか? その概要を知る)
第 12 回	グローバル化する投資家について (1) 投資運用の進展と投資判断
第 13 回	(2) 機関投資家の責任
第 14 回	グローバル化する証券取引 (1) グローバル化する証券取引の参加者
第 15 回	// (2) テクノロジーの進展に対応する証券取引所
第 16 回	証券市場の課題、投資家の課題、企業の課題

到達目標

私たちの暮らしの中で、金融・証券の市場はとても重要な役割を果たしています。市場で決まる株価や金利・為替の水準は企業経営や政府の政策に大きな影響をもたらす、つまるところ、その影響は 1 人ひとりの暮らしに及んでいます。授業ではこうした金融・証券市場の基礎的な理解を目指します。

履修上の注意

授業では、内外の経済や金融・証券の動きが実例として取り上げられます。日ごろから経済・市場関連のニュースに気を付け、株価や債券、為替など各市場の動き、指標や数字の意味をしっかりと理解したい。

予習・復習

毎日変動する金融・証券市場。その動向をしっかりと数字で確認し、授業の内容をより自分のものにしたい。

評価方法

受講不良者は「不可」の評価とします。評価は授業中の議論やレポート (60 点)、試験 (40 点) などから総合的に判断します。授業への積極的な参加 (積極的な発言など) は加点の対象です。

テキスト

授業向けに配布資料を用意します。また必要な参照文献は、適宜、授業中に指示します。